

令和4年12月26日

「原因不明の小児急性肝炎に関する第2回全国実態調査

および病原体検索の研究」への協力をお願い

日本小児科学会 会長 岡 明
日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会
原因不明の小児急性肝炎対策ワーキンググループ委員長 細矢 光亮

2022年、欧米における原因不明の小児急性肝炎増加の報告を受け、国内での原因不明の小児急性肝炎の発生状況を調査するため、日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会の原因不明の小児急性肝炎対策ワーキンググループでは、新型コロナウイルス感染症発生前から現在に至るまでの過去6年間の症例数を明らかにするため、2017年1月1日から2022年6月30日までを期間とする「原因不明の小児急性肝炎に関する全国実態調査（一次調査、二次調査）」を実施しています。今回、第1回の全国実態調査と平行しまして、2022年7月1日以降を対象期間とする「原因不明の小児急性肝炎に関する第2回全国実態調査および病原体検索の研究」を行うことと致しました。

この調査では、2022年7月1日から2023年3月31日までの期間に入院し、下記の定義を満たした症例を対象とし、臨床情報の収集および病原体検索のための検体収集を目的としています。なお、【登録症例の定義】にありますように、アデノウイルス、新型コロナウイルスが検出されている、もしくは、先行感染として考えられる急性肝炎は対象に含まれます。

誠に恐縮に存じますが、臨床情報の提供に同意いただける症例、および残余検体（全血・血清、便、咽頭ぬぐい液、肝組織など）があり、病原体検索のための検体提供に同意いただける症例がおられましたら、日本小児科学会 HP 上の「原因不明の小児急性肝炎の担当医師登録窓口」よりご登録ください。「原因不明の小児急性肝炎に関する第2回全国実態調査および病原体検索の研究」（研究代表者 多屋 馨子）より、臨床情報調査票や検体送付の手順書、説明・同意書などをお送りいたします。

何卒よろしくお願い申し上げます。

【登録症例の定義：次の4項目をすべて満たす原因不明の急性肝炎*】

- ① 16歳以下
- ② 入院症例
- ③ ASTあるいはALT 500 U/Lを超える
- ④ A～E型肝炎が否定される

* 明らかに薬剤性肝炎、血液腫瘍性疾患、代謝性疾患、循環器疾患によるもので、「原因不明の急性肝炎」から除外できるものは調査対象に含めない。アデノウイルス、SARS-CoV-2 が検出されている急性肝炎は含む。